

平成29年度

まちづくりラウンドテーブル

ワークショップ詳細

平成28年度より開始された市民と行政の“対話の場”、“学びの場”である「まちづくりラウンドテーブル」（通称「MRT」）。

今年度第2回目はテーマ制「地域交通を考える」を実施し、益田市地域公共交通活性化協議会、益田市交通事業者からも出席いただき、益田市の地域交通について議論しました。

平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

1. 市長挨拶



2. 地域交通（益田市の現状） について



ワークショップの前に市人口拡大課交通対策係より、益田市の地域交通の現状について説明いたしました。



3. 自己紹介



4. ワーク①：地域の状況を共有しよう



地区の交通に関して良い点、困っている点などそれぞれの考えを付箋に書き出し共有しました。



5. ワーク②：〇〇さんの “困った”を解決せよ！



地区で困っている方を想定し、困りごと解決の案をグループで考えました。



6. 情報共有



5分×3回で他グループの解決案を共有しました。



7. まとめ



地域づくりはチームづくり、交通に関してもチームづくりが大切だということを共有しました。



8. 閉会



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Aグループ：益田地区、吉田地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

健康の維持

生協利用もあり

キヌヤ買い物
バス使っている

学生利用少

部活動の帰り
便が速い

生活バス便利

交通弱者免許
返納者

高齢者障がい者
公共交通

旧市内での高台（水分、赤城、久城、青葉台）
乗り換えきつい

バス長距離
料金高い

バス停までも
遠くて歩けない

メインの路線
バス充実を

広島へバス雪で
ストップ

乗り継ぎ利用
も多い

スーパーまで
歩くのがつらい

高齢者免許維持
難しい

買物に行きたい

独居者の通院、
買物

乗用車使ってる人多い
（複数台所持）

医者通いにバス便数が少ない
久城バス1時間に1本等
意外と不便



ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>斉藤さんのプロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・70代後半 奥様と二人暮らし 移動手段は自家用車 ・買物 病院 週2～3回
<p>斉藤さんの困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返還があれば生活が成り立たない、不安
<p><u>問題解決のアイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内の病院等めぐる福祉バス運行 ✓大家族制
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石見交通 ・介護施設 ・代行業者 ・病院 ・行政 ・利用者



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Bグループ：高津地区、小野地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

高齢者が大変 第2自治会がほとんど高齢者
市営住宅 車いす利用 シルバーゾーン

部会でもなかなか結論が
出なかった、規制がある
ので難しい

乗り継ぎによる負担
身体的負担
心理的負担

高津
近所同士で助け合
い、立場上で動け
ないこともある

J R 長距離基本
バス 短距離移動

明見団地高齢化 荷物を
持って家に帰るのが大変
(バス停から)

介護タクシーの
利用を勧めている

もっとフリーに
利用できるものが
出来るとよい

小野
生活バスの利用が
ない 1700人 5自
治体 3自治体生活
バスがない

1日1往復しかない
利用の実態に合わない

出かけていくこと
が難しく、宅配を
受けることがある

高齢者の運転免許証の返納
子どもに乗ると言われるが
生活手段なのでやめられない

高齢者だけでなく都会からの
U・Iターン者に免許を持た
ない人など少数派だが困っ
ている人もいる

キヌヤの宅配利用
クッキングフーズ利用
配食サービスの利用

一見便利に見えて
も不自由さがある

返納者をどうやっ
て外へ連れ出すか

小野
朝のバスと列車の
時間が同じ

乗り継ぎ乗り継ぎの移
動になる利用したいが
利用しづらい

困っているのは高齢者

交通弱者
高齢者 学生

バス停までが遠い

移動販売が少なく
なった 買いたい
ものも少ない

返納者引きこもりが
多くなった
(認知症) 体まで動
かなくなる

ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>高津さんのプロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・80歳代の高齢者夫婦 ・子どもは市外、日常的な支援は難しい ・日常生活は概ね自立、自家用車はなし、移動手段はなし ・バス停まで10分程度、膝と腰に軽度の痛みあり
<p>高津さんの困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段がない ・バス停までが遠い ・経済的にタクシーを利用できない ・買い物、通院が難しい
<p><u>問題解決のアイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓いかに安く移動できるか ✓実態把握（同じ困りごとを持っている人） <ul style="list-style-type: none"> →アンケート実施、基本情報収集 ✓乗合タクシーの助成制度（補助券） <ul style="list-style-type: none"> →行政や益田市地域公共交通活性化協議会へ要望
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治組織 ・地区サロン ・地区社協 ・地区振興センター ・生活支援コーディネーター



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Cグループ：安田地区、鎌手地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

出かけるなら来てもらう
ハートクック弁当

鎌手 金山、宇治
の交通

移動販売
(週1回)

レンタカー総務省
サポート事業

通院
生活バス タクシー

総務省暮らしサポート事業
黒石地区↔キヌヤ↔津田駅サロン

津田駅 (サロン運営)
梅寿会車両10人乗り
水曜日 社会貢献事業

運転手サポート
担当者付きで送迎

津田さざなみ会
高齢者サロン

ひれふり苑8人
乗り買い物バス

公共交通との違い
ドライバーの運転
(高齢者) (判断力)

梅寿会バス→
サポーター (20人)
つけている

若い人が土日に思うときにいけない
←サポート事業予告しとけば準備できる

商店、スーパーない

安田自治組織立ち上げ準備
アンケート実施
→交通アンケート

アンケート (安田) 全世帯
地図上に落とし込む
kintone

安田地域づくりおたすけ隊予算→
タクシー (ジャンボ) チャーター

鎌手アンケート
これから

つろうて子育て
東陽校区
オヤジーズ
40代中盤

安田買物難民
アンケート実施

J R, バス、通学 高校生
(男の子は自転車の子もいる)

ウーバー 自治会
輸送 研究中

鎌手 商店なし
各自で市内へ買い物

9号沿いと山手の方ある

美都地区自治会
輸送視察

若い人たちにバトン
タッチする体制づくり

津田 買物難しい
キヌヤ ラポ

津田駅 (ほっとサロン)
地区の東によりすぎ
利用問題、利用手段

ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

〇〇さんのプロフィール	・宇治地区 70代後半夫婦2人暮らし
〇〇さんの困りごと	・妻の通院（津田医院）、買い物（同時に済ませたい） （ほっとサロンも寄りたい）
<u>問題解決のアイデア</u>	✓生活バスの曜日、時間の工夫+路線 ✓福祉法人とのタイアップ ✓利用者アンケート（自治組織）
チームメンバー	・利用者 ・自治組織（準備会） ・人口拡大課 ・福祉事業者



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Dグループ：種地区、北仙道地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

種線廃止にならないように
(日、祝日) 運行しない

乗合タクシーのある
日は町に出やす
い (周知が大事)

種線
午前中2便
午後3便
時間丁度よい

若い人は今は大丈夫と
思って関心が無い

公共交通の
アンケート実施

地域でのつながり
が深い

サイクリングロード

キヌヤの配達

地域から出る人だ
けではなく来てい
ただく方策必要

飲み会の日バス
帰りはタクシー

高校まで20km
親の送迎が多い

農面道にも家が
いっぱいある

タクシー種→
市内 2800円
バス510円

バス停までが遠い

月1回買い物
ツアーをしている
(北仙道)

若い人に買い物に
連れて行っても
らうのも気兼ね

75歳を過ぎたら
運転が心配

車を運転しない人
が困っている

高齢者世帯が多い

種
山折
お店1軒

出やすい環境づくり

行事の時の交通手段
の確保 (駐車場も)

休日 (日曜)
グラントワなど行きたい
がバスが無い



ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>〇〇さんのプロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしで運転免許を保有していない高齢者（79歳） ・買い物や病院は路線バス（種線）を利用
<p>〇〇さんの困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスが日・祝日通っていないのでイベントにいけない ・近所の人に載せてもらうのは気兼ね、多少のあきらめも感じている ・バスの乗り換えが大変で、目的地まで時間がかかる
<p><u>問題解決のアイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の方の乗り合わせで市内に出る ✓福祉関係のバスが開いている時に利用 ✓特に若い人に地域の事を知っていただいてつながりを作る ✓タクシー利用はぜいたく、高価なイメージがあるので、 路線バスと同じように、気軽に使っていただくような働き ✓地域での状況把握（情報共有）
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民（1人1人のつながりを強化） ・タクシー事業者さんや行政との連携



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Eグループ：豊川地区、真砂地区、東仙道地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

タクシーで移動
するとお金が高い

バスの便の時間が
1時間に1本

路線バスのバス停
までが遠い

J R益田駅北口が
早く出来てほしい

列車の便が少な
すぎ待ち時間多い

高齢者の運転
ノロノロ

帰りのバスが無く
なるのが早い

バスが必ず駅に向
かうので地域間の
移動ができない

乗り継ぎにくい

飛行機が不便

地区内幹線道路4k mあり、
各（3か所）拠点を繋ぐ方法

乗合バスの
認知度の低さ

近所の高齢者
大きい買い物や荷
物が多いとタク
シーを利用するこ
とが多い

利用者の少ない
バスがあんなに
大きい必要ある？

バス停から遠く高校生は
市内近くまで送迎した方
が都合が良い

バス等では大きな
買い物が難しい

豊川は市街地の入り口である
二川線、真砂線の2路線があり、

高低差があり自動車に
頼らざるをえない

料金が高い（たまになら良いけど）
バス タクシー

近くに病院が無い

高齢者等移動が
困難な人が多い

乗りたい時に乗れない
不便さ（バス）

近くに買い物する
場所がない遠い



ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>田原夫妻の プロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・免許は返納 足が悪い 子どもは広島
<p>田原夫妻の 困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通院、買い物、地区住民（おとなりさんとか）との関係が うすくなってきている
<p><u>問題解決の アイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓バス停をへらして、降りやすい、乗りやすい、待ちやすい（他の人と共有時間、ふれあい時間）拠点となるデラックスなバス停を作る ✓バス停までは、自治会輸送、地区内ヒッチハイク制度（タクシー含む）相乗り、割りかん
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田原夫婦 ・タクシー会社 ・バス会社 ・地区住民



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Fグループ：二条地区、美濃地区、中西地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

時間が合わない

帰りの便が無い

便が少ない

夜の便が無い

夜間、土日の
ダイヤの増加

バス停が遠い

生活バスが
絶対必要

運転できない人が
増えてきている

公共交通の連絡を
よくしてほしい
(例 バスと生活バス)

連携

車の利用依頼
(連絡方法)の確立

足が弱ってきたので
バス停まで出られない

時間が合わなくて
利用できない

幹線路までの
対策つなぎ

生活バスと石見交通
の協力体制は？

自宅まで迎えに行く
方法を今考えている

隣保(組)や自治
会内で自家用車に
よる助け合いは？

社協のマイクロ
バス利用は？
(イベント、会合、
サロン活動)

地域自治組織
→病院通い、買物、
交通対応は？

バス小さくしては？
→料金は変わらない

夜間、緊急時
交通対応は？

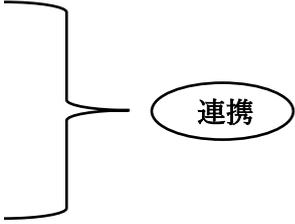
空港利用促進
→空港への足の確保は？

バス停までの
交通手段は？

免許返上
→足の確保
→公共交通の充実
→対応策は？



ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>〇〇さんのプロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二条地区にお住いの1人ぐらしで、バス停まで2～3 km ・免許なし（返納後）
<p>〇〇さんの困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院、バス停まで遠い、乗り継ぎ時間が合わない、便が少ない 土・日・夜間が不安（イベント参加できない）、運賃が高い
<p><u>問題解決の</u> <u>アイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓①ふれあいマップの作成（地区住民の情報共有）お互い、アンケート ✓②地区内送迎、ボランティア、社会福祉法人、取りまとめる方、有償ボランティア ✓③65才以上免許返納者は費用半額 ✓④バス停まで歩く元気！と健康でいる ✓⑤地域内輸送（自治会） ✓⑥乗り継ぎ施設の充実（サロン、待ち時間の利用）、人口拡大、便に合わせた生活リズム
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石見交通③、⑥ ・タクシー会社② ・益田市①、④、⑥ ・地域住民①、②、④、⑤、⑥ ・社会福祉法人①、②、④ <div style="text-align: right;">  <p>連携</p> </div>



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Gグループ：都茂地区、二川地区、道川地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

益田市内までの
移動は乗り継ぎ
が必要

目的地へ行くのに
乗り換えが多い

バス停まで遠い
二川地区2カ所

利用者が増えて
きている

自治会輸送運行
範囲がせまい

自治会輸送活動の
今後について
車
運転手

夜の会合の帰りが
使えない
(柚子り愛号)

商店や病院まで
遠い

バスの時間が
合わない

乗りたい時に乗れる
バス (時間)

専門医療機関まで遠い
(片道10~25 km)

デマンド
家までの送り迎えはあるが
(1往復) そこから二川、匹見で
石見交通に乗り換える時間が限定
される

地域内での移動が難しい
(車が無い人)



ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>Kさんのプロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性 70代 夫 (70代) と2人暮らし 二川地区 ・免許なし
<p>Kさんの困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、金融機関が遠い（地区内になし）（都茂にはある） ・バス停まで遠い ・地区内の自治輸送は利用できるが、地区外へ行けない
<p><u>問題解決のアイデア</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓二川と都茂の自治会輸送の連携→運転手など担い手の確保 ✓お隣の道川地区との連携（191号線の路線がないため） ✓多世代での意見交換 ✓公共交通の利用促進（今あるものを継続するため） →乗り放題を利用する
<p>チームメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二川自治会 ・都茂連合自治会 ・道川連合自治会 ・交通事業者 ・自治組織 ・行政 ・社協（見守り）



平成29年度テーマ制まちづくりラウンドテーブル

Hグループ：西益田地区、匹見上地区、匹見下地区

ワーク①：地域の状況を共有しよう

バスの乗り降りにふらつく
利用したいが1人は不安

公共交通利用案内
路線バス デマンドバス

バス停まで行けない
頼るべき人が少なくなる
家族 近所

行きたい時間に
合った便が無い

待ち時間がある

公共交通が利用しにくい
交通網 便数

運転できにくくなる
免許証 能力

タクシーは便利

近隣に商店 病院
が無くなっている

曜日又は日を決めて買物
(地域内)
病院への搬送
(地域単位で)

用事あればみんな
で話してタクシー
を利用している

タクシー券を利用する
券が無くなると外出しなくなる

生活支援の会
(有料実証実験) 需

昔は近隣に店が
あったが今は車社
会で店が減った

デマンドバスの地域の
貢献の拡大
(待ち時間が長すぎる)

バス等の待つ
時間が長い

バスの休憩場所を
個人で作った

支所のバスの有効利用
の問い合わせ(返事)
経費が掛かる

生活バス廃止
出かけるとき
タクシーを呼ぶ

急な用事が
できた場合

デマンドバスがあっても
近所の方はタクシー
を利用しておられる
便利が良いのかと思
われるが経費の事が
気にかかる

自家用車に乗れなく
なった時は生活がで
きなく不安に思う

出かけることが多く
自家用車の維持費
が高つく

自分の行きたい
目的地までの公共交通
が無い場合

ワーク②：〇〇さんの“困った”を解決せよ！

<p>吉田さんの プロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金のみ、5万円 ・一人暮らしおばあさん ・山奥に住んでいる、畑有 ・これまで自分で運転をして病院と買物に月2～3回は出かけていた ・割と元気、子どもは益田、浜田、広島、月に1回ぐらいは誰かがくる
<p>吉田さんの 困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓お金がない ✓野菜を作っており自給はできるが、買物、病院に行く手段以外にもホームセンター等、それ以外にも生活必需品の調達に困る（雪が降って寒い中電化製品もこわれた、3日も水が出なかった） ✓デイサービスに行くのも考える ✓とにかく健康でいようと精神力、なんとか自分でしようという気合い ✓近所の人がよくしてくれるが遠慮もある
<p>問題解決の アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で見守る仕組みが必要（見守り隊）、声かけ「困りごとはない？」 ・話し相手をつくる（色々なアイデアの共有ができる）→生き残り ・できるだけことは自分でする（見返りは求めない） ・タクシー利用券の充実（500円券×48枚） ・曜日や利用目的を決めて利用する仕組みつくる ・交通については問題になっていても解決できないでいる ・地域に合った方法で、法律、ボランティアのみでなく（交通問題は困難） ・過疎地域の規制緩和を！ ・後継者を育てていなければならない ・総合的な取り組みになって大がかりすぎる



—Machidukuri Round Table—

